



2027年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2026年8月5日

上場会社名 アルコニックス株式会社 上場取引所 東
 コード番号 3036 URL <https://www.alconix.com>
 代表者 （役職名） 代表取締役社長執行役員CEO （氏名） 手代木 洋
 問合せ先責任者 （役職名） 取締役専務執行役員CSO （氏名） 鈴木 匠 TEL 03-3596-7400
 コーポレート部門長
 配当支払開始予定日 —
 決算補足説明資料作成の有無：有
 決算説明会開催の有無：有 （機関投資家、アナリスト向け）

（百万円未満切捨て）

1. 2027年3月期第1四半期の連結業績（2026年4月1日～2026年6月30日）

（1）連結経営成績（累計）

（％表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2027年3月期第1四半期	72,512	38.1	6,930	183.4	7,143	248.0	5,691	349.0
2026年3月期第1四半期	52,506	14.5	2,445	35.7	2,052	△1.2	1,267	△1.7

（注）包括利益 2027年3月期第1四半期 35,134百万円（—％） 2026年3月期第1四半期 △389百万円（—％）

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2027年3月期第1四半期	189.30	189.11
2026年3月期第1四半期	42.34	42.33

（2）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2027年3月期第1四半期	289,956	113,711	39.0
2026年3月期	222,427	79,942	35.6

（参考）自己資本 2027年3月期第1四半期 112,959百万円 2026年3月期 79,226百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2026年3月期	—	42.00	—	45.00	87.00
2027年3月期	—	—	—	—	—
2027年3月期（予想）	—	47.00	—	48.00	95.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無：有

詳細は本日（2026年8月5日）公表いたしました「2027年3月期連結業績予想及び配当予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

3. 2027年3月期の連結業績予想（2026年4月1日～2027年3月31日）

（％表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	265,000	20.6	14,700	50.9	14,000	56.5	9,200	64.3	306.60

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：有

詳細は本日（2026年8月5日）公表いたしました「2027年3月期連結業績予想及び配当予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更：有

新規 3社 (社名) ・ALCONIX INDIA PRIVATE LIMITED
・FUJICARBON INDIA PRIVATE LIMITED
・株式会社プルーフ・メカニクス

除外 1社 (社名) ー

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

(注) 詳細は、[添付資料] 9 ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 (四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理に関する注記)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2027年3月期 1 Q	31,135,400株	2026年3月期	31,125,300株
② 期末自己株式数	2027年3月期 1 Q	1,064,442株	2026年3月期	1,064,242株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	2027年3月期 1 Q	30,063,407株	2026年3月期 1 Q	29,932,742株

(注) 当社は「株式給付信託 (BBT)」及び「従業員向け株式交付信託」を導入しており、株主資本において自己株式として計上されている「株式給付信託 (BBT)」及び「従業員向け株式交付信託」に残存する自社の株式は、1株当たり四半期純利益及び潜在株式調整後1株当たり四半期純利益の算定上、期中平均株式数の計算において控除する自己株式に含めております。

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー：無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

(決算説明資料及び決算説明会内容の入手方法)

当社は、2026年8月6日(木)に機関投資家、アナリスト向けにネットカンファレンスを開催する予定です。

その模様及び説明内容(音声)については、当日使用する決算説明資料とともに、開催後速やかに当社ウェブサイトに掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当四半期の経営成績の概況	2
(2) 当四半期の財政状態の概況	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理に関する注記)	9
(セグメント情報等の注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	10

1. 経営成績等の概況

(1) 当四半期の経営成績の概況

当第1四半期連結累計期間における世界規模の経済情勢は、米国政府の関税政策や北米を中心とするEV減速、中国によるレアメタル・レアアースの輸出規制、更には中東情勢といった地政学的状況の変化があり、当社グループの経営に影響を及ぼしました。

当社グループとして関与の深い市場、業界においては、アルミ・銅・ニッケル、レアメタルを含む非鉄金属相場は高止まりが継続し、中国の輸出規制や中東情勢の影響でレアメタルやアルミの供給懸念から、リサイクル材を中心に需要家の在庫確保の特需もありました。自動車や車載用二次電池についてはEV減速の影響を受ける一方、AI・データセンターを起点とする半導体関連は国内や北米で堅調な需要が継続しております。

このような環境のもと、当第1四半期連結累計期間における当社グループの売上高は、レアメタル、アルミ地金などの取引、半導体関連取引が寄与して電子機能材事業、アルミ銅事業、装置材料事業、金属加工事業の4セグメント全てにおいて前年同期比増となりました。同期間におけるセグメント利益は、上記増収要因が寄与して電子機能材事業、アルミ銅事業、装置材料事業、金属加工事業の4セグメント全てにおいて前年同期比増となりました。

当第1四半期連結累計期間における主な経営成績は次のとおりであります。

	前第1四半期 連結累計期間 (百万円)	当第1四半期 連結累計期間 (百万円)	前年同期比 増減額 (百万円)	前年同期比 増減率 (%)
売上高	52,506	72,512	20,006	38.1
営業利益	2,445	6,930	4,485	183.4
経常利益	2,052	7,143	5,090	248.0
親会社株主に帰属する 四半期純利益	1,267	5,691	4,423	349.0

当第1四半期連結累計期間におけるセグメントの業績は次のとおりであります。また、各セグメントの売上高は、セグメント間の内部売上高を含んでおります。

なお、当第1四半期連結会計期間より、報告セグメントごとの業績をより適切に反映させるために、全社費用の配賦方法を見直し、報告セグメントの利益又は損失の測定方法の変更を行っております。前第1四半期連結累計期間のセグメント情報は、変更後の測定方法に基づき作成したものを記載しております。

		前第1四半期 連結累計期間 (百万円)	当第1四半期 連結累計期間 (百万円)	前年同期比 増減額 (百万円)	前年同期比 増減率 (%)
商社流通 －電子機能材	売上高	11,132	18,094	6,962	62.5
	セグメント利益	896	2,757	1,861	207.6
商社流通 －アルミ銅	売上高	21,960	30,231	8,270	37.7
	セグメント利益 又は損失(△)	△88	1,295	1,383	—
製造 －装置材料	売上高	11,508	14,851	3,343	29.1
	セグメント利益	88	1,551	1,462	—
製造 －金属加工	売上高	9,897	11,844	1,946	19.7
	セグメント利益	1,111	1,555	444	40.0

(注) セグメント利益は、各セグメントの経常利益を示しております。

・商社流通－電子機能材事業

本セグメントの売上高は、レアメタル取引が寄与して前年同期比増となりました。本セグメントのセグメント利益は、上記増収要因が寄与して前年同期比増となりました。

・商社流通－アルミ銅事業

本セグメントの売上高は、アルミ及び銅スクラップ取引が寄与して前年同期比増となりました。本セグメントのセグメント利益は、上記増収要因が寄与して前年同期比増となりました。

・製造－装置材料事業

本セグメントの売上高は、北米市場の半導体関連部材・電気設備部材取引が寄与して前年同期比増となりました。本セグメントのセグメント利益は、上記増収要因が寄与して前年同期比増となりました。

・製造－金属加工事業

本セグメントの売上高は、半導体製造装置・実装装置関連部品取引が寄与して前年同期比増となりました。本セグメントのセグメント利益は、上記増収要因が寄与して前年同期比増となりました。

(2) 当四半期の財政状態の概況

①財政状態

a. 流動資産

当第1四半期連結会計期間末における流動資産は186,818百万円であり、前連結会計年度末比24,527百万円の増加となりました。主な内訳は、受取手形及び売掛金並びに電子記録債権の増加11,247百万円、現金及び預金の増加4,325百万円、棚卸資産の増加9,065百万円であります。

b. 固定資産

当第1四半期連結会計期間末における固定資産は103,137百万円であり、前連結会計年度末比43,001百万円の増加となりました。主な内訳は、有形固定資産の増加913百万円及び投資有価証券の増加42,115百万円であります。

c. 流動負債

当第1四半期連結会計期間末における流動負債は139,302百万円であり、前連結会計年度末比18,872百万円の増加となりました。主な内訳は、短期借入金の増加6,869百万円、支払手形及び買掛金並びに電子記録債務の増加11,881百万円、1年内返済予定の長期借入金の増加336百万円、未払法人税等の減少490百万円であります。

d. 固定負債

当第1四半期連結会計期間末における固定負債は36,942百万円であり、前連結会計年度末比14,886百万円の増加となりました。主な内訳は、繰延税金負債の増加13,208百万円及び長期借入金の増加1,637百万円であります。

e. 純資産

当第1四半期連結会計期間末における純資産は113,711百万円であり、前連結会計年度末比33,769百万円の増加となりました。主な内訳は、その他有価証券評価差額金の増加28,694百万円及び為替換算調整勘定の増加719百万円であります。

②経営成績

a. 売上高

各セグメントの増収により、当第1四半期連結累計期間における売上高は72,512百万円（前年同期比38.1%増加）となりました。

b. 売上総利益

各セグメントの増益により、当第1四半期連結累計期間における売上総利益は12,122百万円（前年同期比64.5%増加）となりました。

c. 販売費及び一般管理費

人件費の増加等により、当第1四半期連結累計期間における販売費及び一般管理費は5,191百万円（前年同期比5.4%増加）となりました。

d. 営業利益

上記の結果、当第1四半期連結累計期間における営業利益は6,930百万円（前年同期比183.4%増加）となりました。

e. 営業外収益、営業外費用

デリバティブ評価益の計上等により、営業外収支（営業外収益－営業外費用）は212百万円の収入超となりました（前年同期は393百万円の支出超）。

f. 経常利益

上記の結果、当第1四半期連結累計期間における経常利益は7,143百万円（前年同期比248.0%増加）となりました。

g. 特別利益、特別損失

投資有価証券売却益892百万円、固定資産売却益14百万円等の特別利益916百万円を計上する一方、固定資産除却損の特別損失2百万円等を計上いたしました。

h. 親会社株主に帰属する四半期純利益

税金等調整前四半期純利益8,057百万円から、法人税等2,324百万円、非支配株主に帰属する四半期純利益42百万円を差引き、当第1四半期連結累計期間における親会社株主に帰属する四半期純利益は5,691百万円（前年同期比349.0%増加）となりました。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第1四半期連結累計期間においては主に、非鉄関連相場の高止まり、需要家による特需や、半導体関連が引き続き堅調なことにより、全セグメントが好調に推移いたしました。年度末へ向けた需要平準化や市況下落等、変動要因はあるものの、期初業績予想を上回る見通しとなりましたので、下記のとおり修正いたします。

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属 する当期純利益	1株当たり当期 純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
期初予想 (A)	235,000	10,700	10,000	6,600	219.95
今回修正予想(B)	265,000	14,700	14,000	9,200	306.60
増減額(B-A)	30,000	4,000	4,000	2,600	
増減率(%)	12.8	37.4	40.0	39.4	
（ご参考）前期実績 （2026年3月期）	219,720	9,743	8,947	5,598	186.58

なお、セグメント別の見通しは、下記のとおりです。

		2027年3月期 期初見通し (A)	2027年3月期 修正見通し (B)	2027年3月期 期初・修正増減 (B-A)	2027年3月期 期初・修正 増減率 〔(B-A)/A〕
		百万円	百万円	百万円	%
商社流通 －電子機能材	売上高	35,000	48,000	13,000	37.1
	セグメント利益	2,000	4,500	2,500	125.0
商社流通 －アルミ銅	売上高	95,000	110,000	15,000	15.8
	セグメント利益	500	1,000	500	100.0
製造 －装置材料	売上高	61,000	63,000	2,000	3.3
	セグメント利益	2,500	3,500	1,000	40.0
製造 －金属加工	売上高	44,000	44,000	－	－
	セグメント利益	5,000	5,000	－	－

（注）セグメント利益は、各セグメントの経常利益を示しております。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2026年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2026年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	21,537	25,862
受取手形及び売掛金	62,694	72,390
電子記録債権	5,330	6,883
商品及び製品	54,786	63,200
仕掛品	7,705	7,493
原材料及び貯蔵品	4,484	5,347
その他	6,155	6,043
貸倒引当金	△404	△403
流動資産合計	162,291	186,818
固定資産		
有形固定資産	39,401	40,315
無形固定資産		
のれん	672	624
その他	1,978	1,972
無形固定資産合計	2,650	2,596
投資その他の資産		
投資有価証券	16,780	58,895
その他	4,643	4,782
貸倒引当金	△3,340	△3,452
投資その他の資産合計	18,083	60,225
固定資産合計	60,136	103,137
資産合計	222,427	289,956
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	54,400	63,533
電子記録債務	5,653	8,402
短期借入金	36,554	43,424
コマーシャル・ペーパー	4,994	4,993
1年内返済予定の長期借入金	5,251	5,587
未払法人税等	2,937	2,446
賞与引当金	1,944	2,251
株式給付引当金	57	57
事業構造改善引当金	53	54
その他	8,581	8,549
流動負債合計	120,429	139,302
固定負債		
長期借入金	13,474	15,112
役員退職慰労引当金	362	333
株式給付引当金	—	16
役員株式給付引当金	144	135
退職給付に係る負債	872	899
繰延税金負債	6,024	19,232
その他	1,177	1,211
固定負債合計	22,055	36,942
負債合計	142,485	176,244

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2026年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2026年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	5,907	5,917
資本剰余金	5,441	5,458
利益剰余金	50,352	54,666
自己株式	△1,459	△1,459
株主資本合計	60,241	64,582
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	8,231	36,926
繰延ヘッジ損益	65	43
為替換算調整勘定	10,686	11,406
その他の包括利益累計額合計	18,984	48,376
新株予約権	32	28
非支配株主持分	684	724
純資産合計	79,942	113,711
負債純資産合計	222,427	289,956

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2026年4月1日 至 2026年6月30日)
売上高	52,506	72,512
売上原価	45,136	60,389
売上総利益	7,369	12,122
販売費及び一般管理費	4,923	5,191
営業利益	2,445	6,930
営業外収益		
受取利息	28	27
受取配当金	146	151
デリバティブ評価益	—	293
その他	223	279
営業外収益合計	398	752
営業外費用		
支払利息	251	380
為替差損	156	50
デリバティブ評価損	301	—
その他	81	109
営業外費用合計	791	540
経常利益	2,052	7,143
特別利益		
固定資産売却益	2	14
投資有価証券売却益	—	892
その他	0	9
特別利益合計	3	916
特別損失		
固定資産除却損	1	2
事業構造改善費用	14	—
その他	0	0
特別損失合計	16	2
税金等調整前四半期純利益	2,039	8,057
法人税等	776	2,324
四半期純利益	1,262	5,733
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△4	42
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,267	5,691

(四半期連結包括利益計算書)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2026年4月1日 至 2026年6月30日)
四半期純利益	1,262	5,733
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	343	28,694
繰延ヘッジ損益	△22	△22
為替換算調整勘定	△1,973	728
その他の包括利益合計	△1,652	29,400
四半期包括利益	△389	35,134
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△362	35,083
非支配株主に係る四半期包括利益	△26	50

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理に関する注記)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

なお、法人税等調整額は、法人税等を含めて表示しております。

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位: 百万円)

	報告セグメント				合計
	商社流通		製造		
	電子機能材	アルミ銅	装置材料	金属加工	
売上高					
顧客との契約から生じる収益	9,620	21,683	11,362	9,839	52,506
外部顧客への売上高	9,620	21,683	11,362	9,839	52,506
セグメント間の内部売上高又は振替高	1,511	277	145	58	1,992
計	11,132	21,960	11,508	9,897	54,498
セグメント利益又は損失（△）	896	△88	88	1,111	2,008

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位: 百万円)

利益	金額
報告セグメント計	2,008
セグメント間取引消去	44
四半期連結損益計算書の経常利益	2,052

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「金属加工」セグメントにおいて、固定資産の減損損失14百万円を計上しており、特別損失の事業構造改善費用に含めて表示しております。

II 当第1四半期連結累計期間(自 2026年4月1日 至 2026年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位: 百万円)

	報告セグメント				合計
	商社流通		製造		
	電子機能材	アルミ銅	装置材料	金属加工	
売上高					
顧客との契約から生じる収益	16, 218	29, 895	14, 660	11, 738	72, 512
外部顧客への売上高	16, 218	29, 895	14, 660	11, 738	72, 512
セグメント間の内部売上高又は振替高	1, 875	335	191	106	2, 508
計	18, 094	30, 231	14, 851	11, 844	75, 020
セグメント利益	2, 757	1, 295	1, 551	1, 555	7, 160

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

（単位：百万円）

利益	金額
報告セグメント計	7,160
セグメント間取引消去	△16
四半期連結損益計算書の経常利益	7,143

3. 報告セグメントの変更等に関する事項

（報告セグメントの利益又は損失の測定方法の変更）

当第1四半期連結会計期間より、報告セグメントごとの業績をより適切に反映させるために、全社費用の配賦方法を見直し、報告セグメントの利益又は損失の測定方法の変更を行っております。なお、前第1四半期連結累計期間のセグメント情報は、変更後の測定方法に基づき作成したものを記載しております。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記）

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費（のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。）及びのれんの償却額は、次のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 （自 2025年4月1日 至 2025年6月30日）	当第1四半期連結累計期間 （自 2026年4月1日 至 2026年6月30日）
減価償却費	1,049百万円	1,105百万円
のれんの償却額	90百万円	47百万円